



# きずな便り



運気が上がる 縁起のいい言葉 **天下太平**【てんかたいへい】世の中が平和で穏やかな様子。

皆様 こんにちは。  
介護用品販売・レンタルきずな、管理者の 石川と申します。  
皆様におかれましては、お健やかに過ごしのことと存じます。

これからの時期、フキノトウ・タラの芽・こごみ・行者ニンニク・アザミなど 沢山の山菜が私たちのお口を満たし、独特のほろ苦さで新陳代謝を促し、冬眠状態だった身体をリフレッシュしてくれます。

でも・・・  
山菜採りで入山の際は、どうかどうかクマさんには出会わないことを祈り、しっかりと装備を整え、山菜採りをお楽しみくださいませ。



## 『 自転車の交通ルール 』



令和8年4月から自転車の交通違反に対して青切符制度が導入され、信号無視や逆走などの違反には反則金が科されることになりました。自転車のルールをきちんと把握している方は意外と少ないと思うので、あらためてご紹介いたします。

自転車の交通ルール・マナーの主な一覧は以下の通りです。



### 1. 自転車安全利用五則

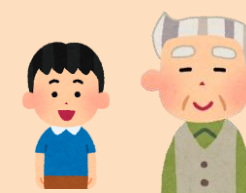
- ・車道が原則、左側を通行する：歩道は例外。右側通行（逆走）は禁止。
- ・交差点では信号と一時停止を守る：安全確認を徹底。
- ・夜間はライトを点灯する：無灯火は違反。
- ・飲酒運転は禁止：お酒を飲んでの運転は絶対不可。
- ・ヘルメットを着用する：被害軽減のため全年齢で努力義務。



### 2. 歩道を通行できる例外ケース

◎歩道を通行できるのは、以下のケースのみです。

- ・自転車及び歩行者の道路標識がある場合はOK。
- ・車道通行が危険な場合はOK。（工事中、渋滞、自動車が多いなど）
- ・13歳未満の子供、70歳以上の高齢者、身体障害者は通行してもOK。



◎歩道でのルール：車道寄りを徐行（すぐに停止できる速度）し、歩行者を優先する。

### 3. 禁止されている危険行為

- ・傘差し運転、片手運転：片手でハンドルを操作する行為。
- ・スマホ、イヤホン使用：画面を見たり、音を聞き取れない状態。
- ・二人乗り：幼児用座席に子供を乗せる場合などを除き、原則禁止。



※ 裏面に続く

介護用品販売・レンタル

# きずな



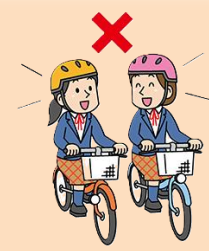
お困りごとはありませんか？ お気軽にご相談ください。

株式会社ライフサポート

〒036-8091 青森県弘前市高崎2丁目7-7

TEL.0172-29-3730 FAX.0172-28-7874

- ・並進（並走）：並進可の標識がない限り、2台以上で並んで走る行為。



#### 4. 2026年4月からの青切符制度（交通反則通告制度）

◎16歳以上の運転者に対し、重大事故に直結する違反に青切符（反則金）が適用されます。

- ・信号無視：6,000円。
- ・通行区分違反（逆走、車道右側通行、歩道徐行なし等）：6,000円。
- ・一時不停止：5,000円。
- ・無灯火：5,000円。
- ・傘差し・スマホ使用：5,000円。



4月に入り、取り締まりも強化されています。ルールを守り、安全に自転車を利用しましょう。

詳細は警視庁ホームページや政府広報オンラインも参考にしてください。

警視庁ホームページ <https://www.keishicho.metro.tokyo.lg.jp/kotsu/jikoboshi/bicycle/rule.html>

政府広報オンライン <https://www.gov-online.go.jp/article/202410/entry-6604.html>

# 大善



## 今のお話 『石田三成公と弘前藩』



1600年の関ヶ原の戦いでは、東軍の徳川家康が勝利を収め、西軍の石田三成は敗れて処断されました。

当時徳川方に属していた弘前藩の初代藩主・津軽為信は、あろうことか敵である石田三成の次男・石田重成（しげなり）と三女・辰姫（たつひめ）を匿い、重成の名前を杉山源吾（すぎやま げんご）と改め津軽家の家老にしています。家老に就かせることで「まさか三成の次男が堂々とこんなところにいるはずがない」という盲点を突いたとも考えられます。

杉山源吾は親譲りの事務能力を発揮し、津軽の発展に大きく貢献したそうです。



げんご



たつひめ

辰姫は二代藩主・津軽信枚（のぶひら）の妻になり、三代藩主・信義（のぶよし）の生母となっています。

しかしなぜ、為信は石田三成の子息たちを保護したのでしょうか？



ひでよし




みつなり

為信は有能です！

実は石田三成は、為信と弘前藩にとって『大恩人』だったのです。南部家から領地を強奪して勝手に独立した為信は、南部家から豊臣秀吉に「津軽為信は、私戦を禁じた関白の命令に背いた大悪人です！」と訴えられ大ピンチでした。そんな中で三成は「為信こそ豊臣に忠誠を誓い、津軽の地を治めるのに相応しい人物です！」と秀吉に推薦してくれます。この三成の尽力がなければ、弘前藩は誕生しなかったのです。

この恩に報いるために為信は子息たちを保護し、三成の血統は津軽家および家老の杉山家に受け継がれ、津軽の地で生き残りました。

ちなみに私の友人である旧姓杉山さんに「ひょっとして石田三成の子孫？」と聞いたら、ニッコリと微笑んでいました。 ヤバ、本物だ・・・ （汗）。